

全業種 回答数318社

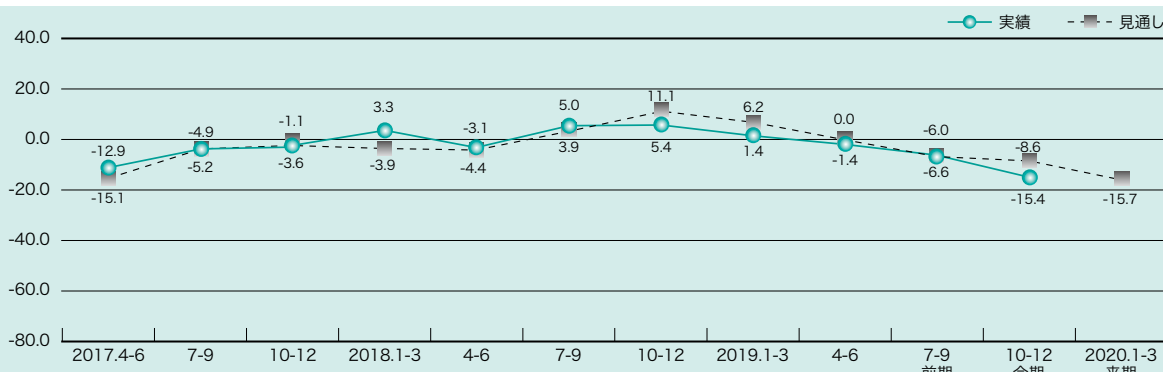
今期の実績(10-12月期)

業況D・Iは▲15.4。前期より悪化。

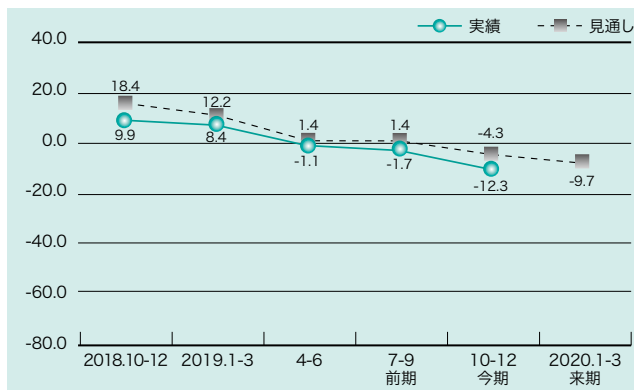
来期の見通し(1-3月期)

業況D・Iは▲15.7。来期もほぼ横這い。

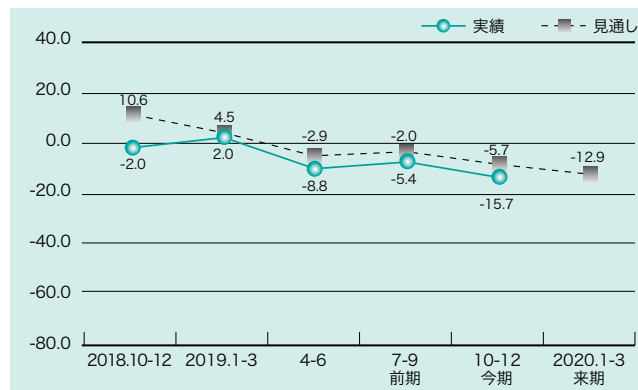
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	2018年			2019年			前期実績	今期実績	来期見通し
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2020年 1-3月	
業況	▲3.1 	5.0 	5.4 	1.4 	▲1.4 	▲6.6 	▲15.4 	▲15.7 	
売上	2.2	12.0	9.9	8.4	▲1.1	▲1.7	▲12.3	▲9.7	
収益	▲1.1	6.1	▲2.0	2.0	▲8.8	▲5.4	▲15.7	▲12.9	
資金繰り	▲3.7	▲3.4	▲4.5	▲6.3	▲8.6	▲8.2	▲5.3	▲6.6	
在庫	1.5	▲6.1	1.3	▲1.6	▲3.4	0.6	▲1.0	▲4.9	
設備	▲8.1	▲13.5	▲12.2	▲11.5	▲9.3	▲10.1	▲6.4	▲7.1	
人手	▲40.4	▲46.8	▲43.1	▲44.4	▲37.0	▲39.8	▲31.8	▲34.0	

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

へきしん取引先 景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測(景況)を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

- 調査実施時期 2019年12月2日～6日
- 調査対象企業 318社
- 調査対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

業種構成

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設・不動産業	その他	合計
企業数(社)	121	34	62	28	72	1	318
構成比(%)	38.1%	10.7%	19.5%	8.8%	22.6%	0.3%	100.0%

製造業
回答数121社

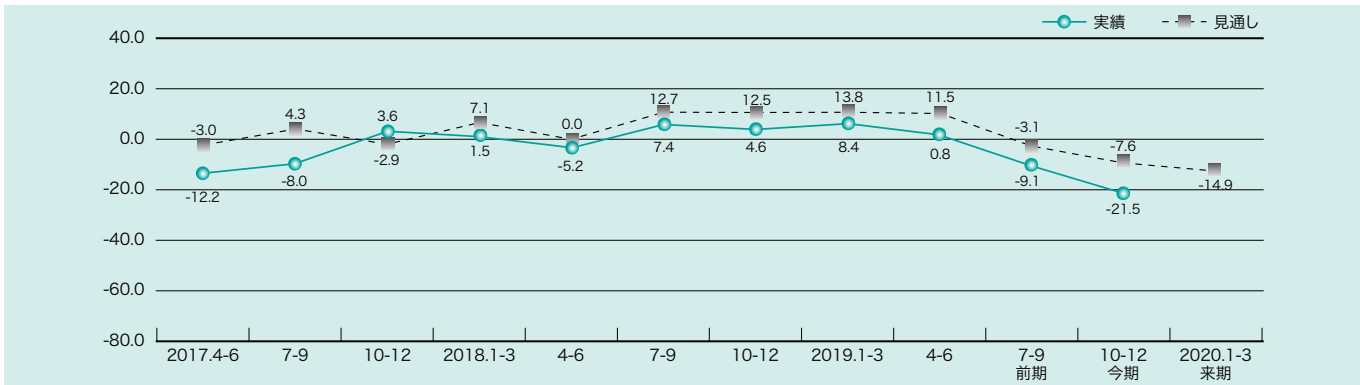
今期の実績(10-12月期)

業況D・Iは▲21.5。前期より悪化。

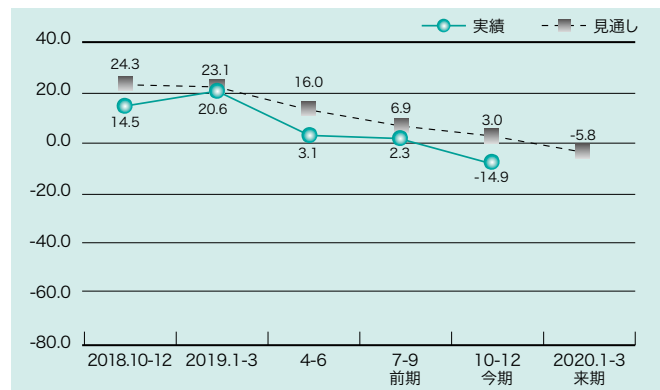
来期の見通し(1-3月期)

業況D・Iは▲14.9。来期は改善の見通し。

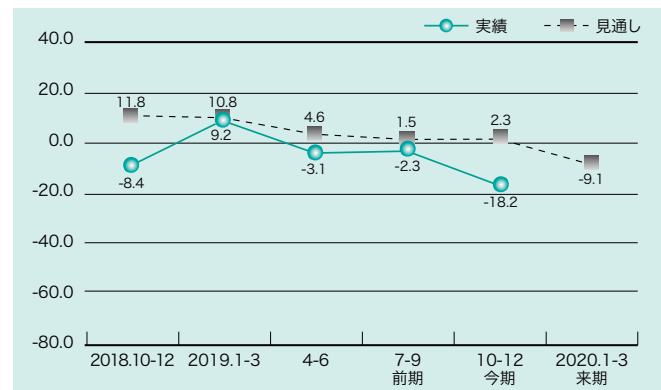
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



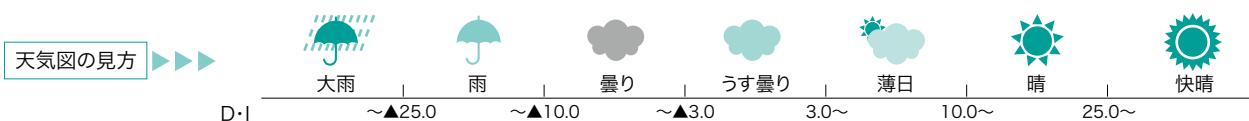
収益D・Iの推移



D・I判断指数

	2018年 4-6月	7-9月	10-12月	2019年 1-3月	4-6月	前期実績 7-9月	今期実績 10-12月	来期見通し 2020年 1-3月
業況	▲5.2 	7.4 	4.6 	8.4 	0.8 	▲9.1 	▲21.5 	▲14.9
売上	9.0	19.1	14.5	20.6	3.1	2.3	▲14.9	▲5.8
収益	▲2.2	14.0	▲8.4	9.2	▲3.1	▲2.3	▲18.2	▲9.1
資金繰り	▲10.4	▲0.7	▲9.2	▲9.2	▲6.9	▲6.8	▲10.7	▲8.3
在庫	1.5	▲3.7	2.3	▲1.5	▲2.3	2.3	1.7	0.8
設備	▲11.2	▲19.1	▲16.9	▲13.1	▲11.5	▲6.1	▲2.5	▲4.1
人手	▲45.5	▲53.7	▲44.6	▲43.5	▲39.7	▲35.6	▲13.2	▲16.5

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



<D・Iとは> D・Iとは業況(業界の景気)を判断するための指数であり、次の計算式で求められます。
D・I(ディフュージョン・インデックス) = 業況判断指数 = (良い又はやや良いと答えた割合) - (悪い又はやや悪いと答えた割合)

卸売業
回答数34社

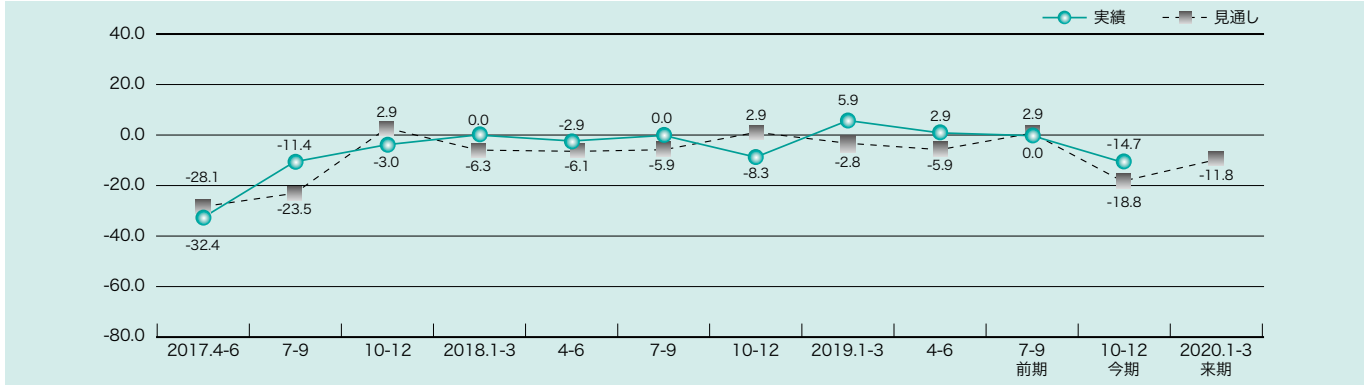
今期の実績(10-12月期)

業況D・Iは▲14.7。前期より悪化。

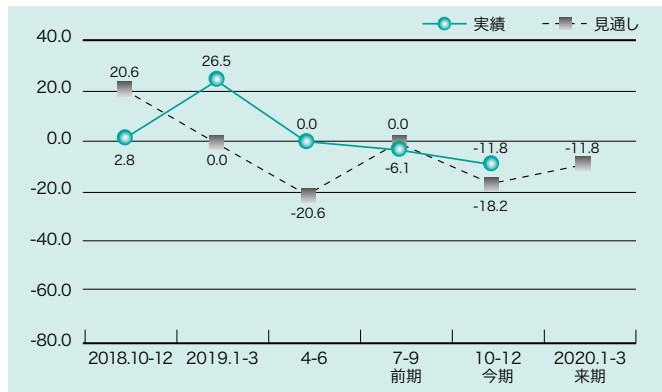
来期の見通し(1-3月期)

業況D・Iは▲11.8。来期は若干改善の見通し。

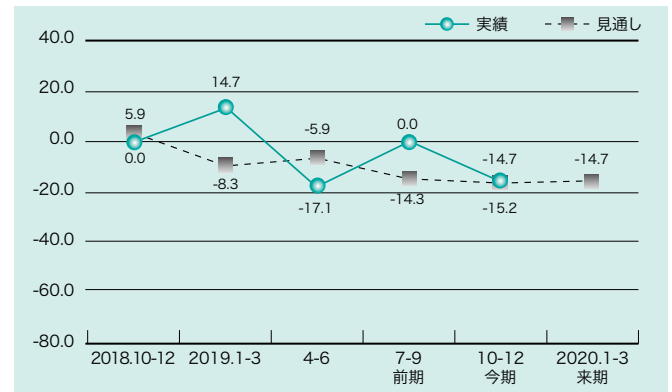
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	2019年				前期実績		今期実績	来期見通し
	2018年 4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2020年 1-3月
業況	▲2.9	0.0	▲8.3	5.9	2.9	0.0	▲14.7	▲11.8
売上	2.9	20.6	2.8	26.5	0.0	▲6.1	▲11.8	▲11.8
収益	5.9	5.9	0.0	14.7	▲17.1	0.0	▲14.7	▲14.7
資金繰り	0.0	▲11.8	2.8	0.0	▲8.6	▲9.1	▲5.9	▲5.9
在庫	2.9	0.0	▲2.8	5.9	5.7	24.2	9.1	9.1
設備	▲5.9	▲11.8	▲8.3	▲9.1	▲2.9	▲9.1	▲11.8	▲11.8
人手	▲35.3	▲32.4	▲38.9	▲47.1	▲31.4	▲48.5	▲26.5	▲29.4

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

小売業
回答数62社

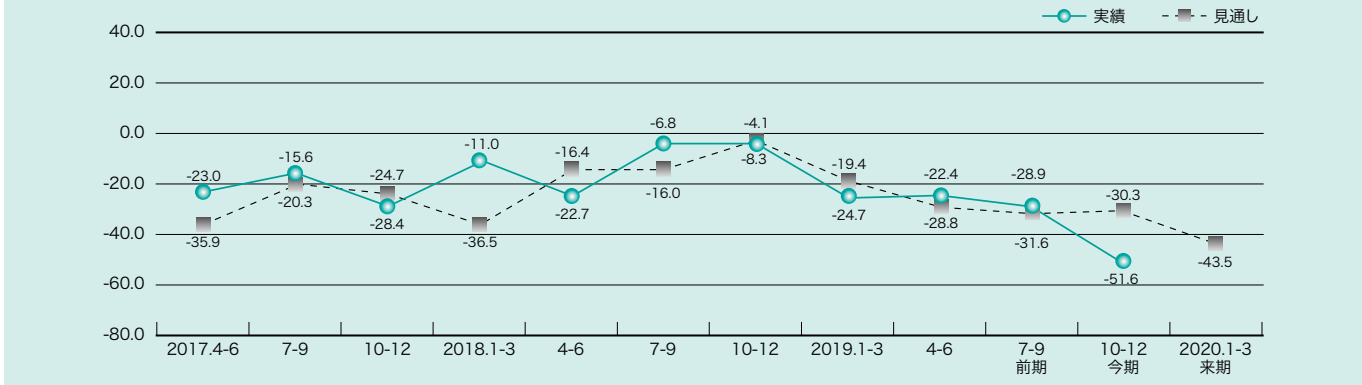
今期の実績(10-12月期)

業況D・Iは▲51.6。前期より大幅に悪化。

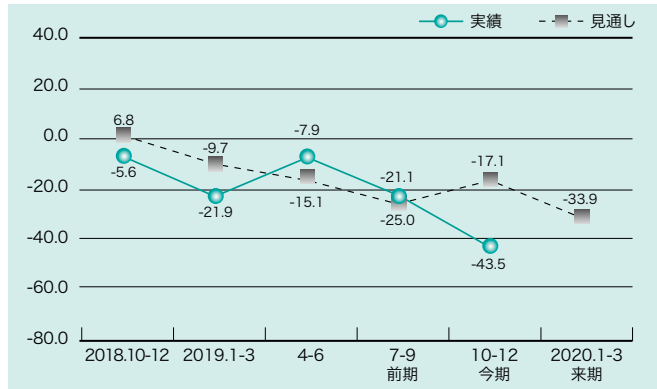
来期の見通し(1-3月期)

業況D・Iは▲43.5。来期は改善の見通し。

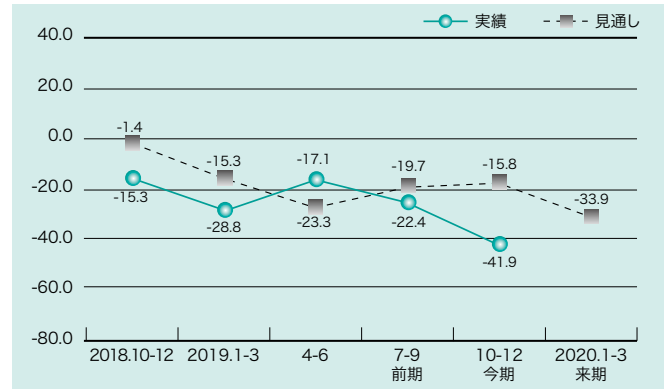
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	2018年			2019年		前期実績	今期実績	来期見通し
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2020年 1-3月
業況	▲22.7 	▲6.8 	▲8.3 	▲24.7 	▲22.4 	▲28.9 	▲51.6 	▲43.5
売上	▲17.3	0.0	▲5.6	▲21.9	▲7.9	▲21.1	▲43.5	▲33.9
収益	▲17.3	▲8.2	▲15.3	▲28.8	▲17.1	▲22.4	▲41.9	▲33.9
資金繰り	▲8.0	▲6.9	▲9.7	▲21.9	▲21.1	▲18.4	▲21.9	▲17.7
在庫	12.0	0.0	8.3	6.8	▲3.9	3.9	1.7	▲10.0
設備	▲9.3	▲9.6	▲4.2	▲6.8	▲10.5	▲15.8	▲3.2	0.0
人手	▲22.7	▲35.6	▲29.2	▲38.4	▲27.6	▲25.0	▲35.5	▲35.5

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

サービス業
回答数28社

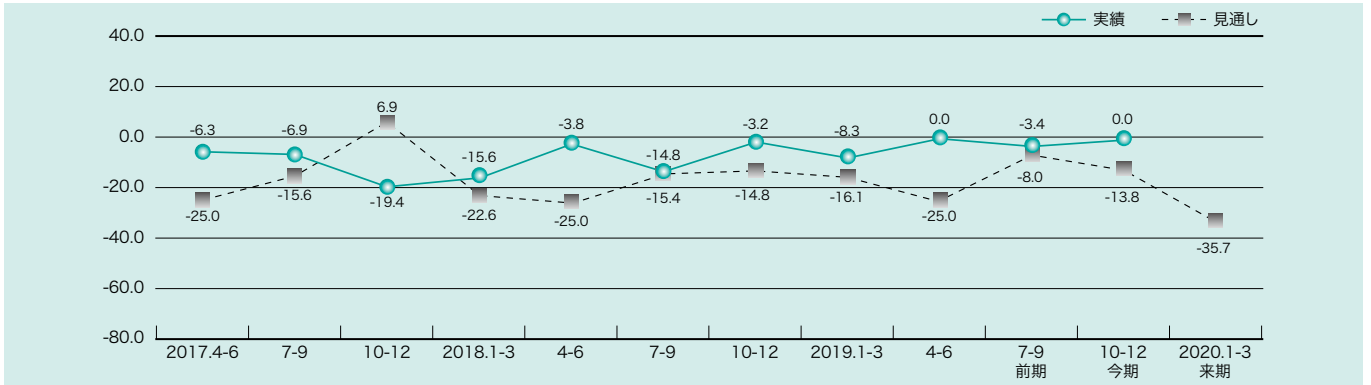
今期の実績(10-12月期)

業況D・Iは0.0。前期より若干良化。

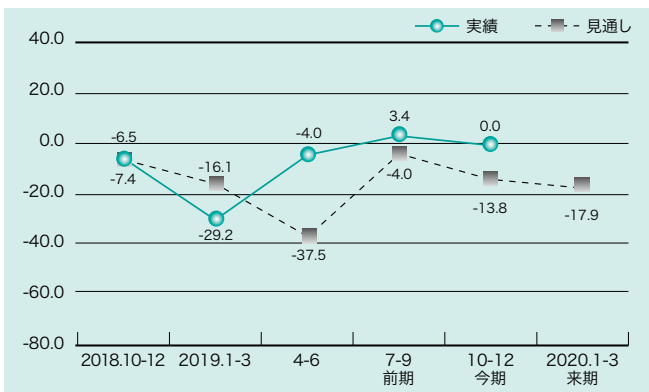
来期の見通し(1-3月期)

業況D・Iは▲35.7。来期は大幅に悪化の見通し。

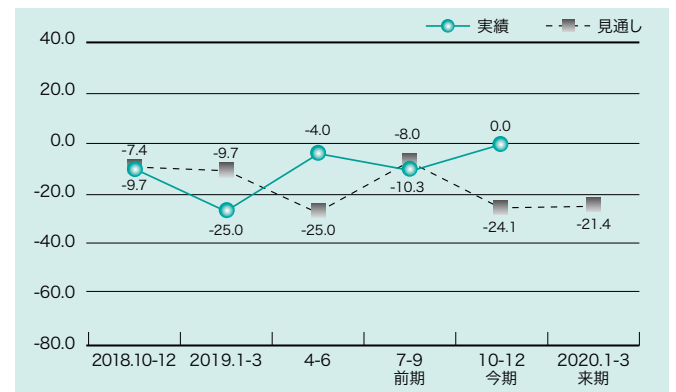
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	2018年				前期実績		今期実績		来期見通し
	4-6月	7-9月	10-12月	2019年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2020年 1-3月	
業況	▲ 3.8 	▲ 14.8 	▲ 3.2 	▲ 8.3 	0.0 	▲ 3.4 	0.0 	▲ 35.7 	
売上	▲ 7.7	▲ 18.5	▲ 6.5	▲ 29.2	▲ 4.0	3.4	0.0	▲ 17.9	
収益	▲ 11.5	▲ 18.5	▲ 9.7	▲ 25.0	▲ 4.0	▲ 10.3	0.0	▲ 21.4	
資金繰り	▲ 3.8	▲ 3.7	▲ 6.5	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 6.9	▲ 3.6	▲ 3.6	
設備	0.0	▲ 7.4	▲ 33.3	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 10.3	▲ 17.9	▲ 22.2	
人手	▲ 57.7	▲ 66.7	▲ 54.8	▲ 45.8	▲ 52.0	▲ 51.7	▲ 46.4	▲ 42.9	

(注)設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

建設・不動産業 回答数72社

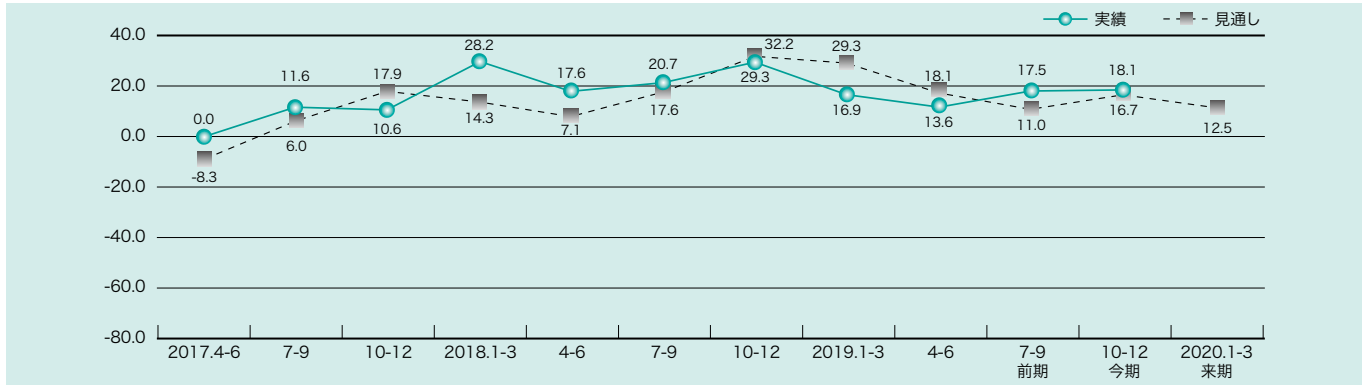
今期の実績(10-12月期)

業況D・Iは18.1。前期より良化しているがほぼ横這い。

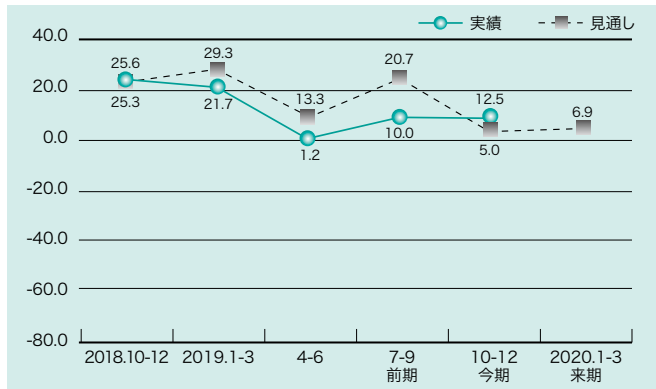
来期の見通し(1-3月期)

業況D・Iは12.5。来期は悪化の見通し。

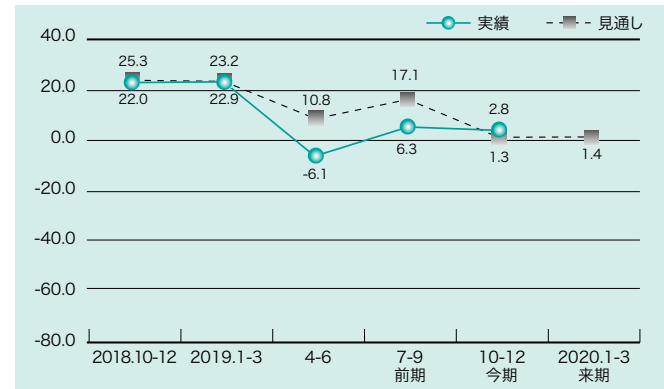
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	2018年 4-6月	7-9月	10-12月	2019年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2020年 1-3月
業況	17.6	20.7	29.3	16.9	13.6	17.5	18.1	12.5
売上	9.4	19.5	25.6	21.7	1.2	10.0	12.5	6.9
収益	15.3	16.1	22.0	22.9	▲6.1	6.3	2.8	1.4
資金繰り	9.4	▲1.2	6.2	14.5	4.9	0.0	9.7	4.2
在庫	▲9.6	▲15.1	▲5.0	▲11.1	▲10.1	▲14.1	▲12.7	▲16.9
設備	▲4.9	▲9.8	▲3.5	▲11.9	▲8.9	▲12.7	▲10.2	▲12.2
人手	▲43.5	▲43.7	▲48.8	▲49.4	▲39.0	▲52.5	▲55.6	▲59.7

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。